

株式会社ダイフク

平成23年3月期

決算説明資料

平成23年5月13日

DAIFUKU
Material Handling and Beyond

- 受注高は順調に推移、売上高は微増
- 販管費の削減、子会社の業績回復などが利益に寄与。当期純利益は資産除去債務等で減少
- 中国で液晶パネル工場向けの大型案件を相次ぎ受注。中国売上高は前期比約3倍
- 国内外の業務提携、M&Aでグループの枠組みを拡大

2-1. 平成23年3月期業績(連結)

DAIFUKU

2

営業利益が大幅に回復

(単位: 億円)

(平成23年3月期)

(前年同期)

(対前年同期比)

受注高	1,802	1,332	(35.3%増)
売上高	1,592	1,542	(3.3%増)
営業利益	17	0.8	(16億円増益)
経常利益	13	△1	(14億円増益)
当期純利益	2	10	(73.5%減)
包括利益	△17	27	(44億円減益)

※億円未満切り捨て

1株当たり純利益	2.43円	9.20円
----------	-------	-------

2-2. 包括利益

今決算から包括利益を開示
為替換算調整勘定が円高の影響を受ける

(単位: 億円)

(平成23年3月期)

(前年同期)

		(平成23年3月期)	(前年同期)
少数株主損益調整前当期純利益		5	10
	その他有価証券評価差額金	△4	3
	繰延ヘッジ損益	△0.2	0.2
	為替換算調整勘定	△17	12
	持分法適用会社に対する 持分相当額	△0.1	0.2
その他の包括利益合計		△22	16
包括利益		△17	27

2-3. 第4四半期(1～3月)業績

DAIFUKU

4

順調に推移

	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	(単位: 億円) (前年第4四半期)
受注高	390	380	501	529	463
売上高	324	415	377	475	480
営業利益	△12	5	3	21	21
経常利益	△13	5	0.3	21	22
当期純利益	△16	4	△1	15	20

※億円未満切り捨て

2-4. 報告セグメントの業績

DAIFUKU

5

子会社の利益が先行回復

(単位: 億円)

※前年同期は今期報告セグメントに置き換えた場合

	売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (当期純利益)	
	(平成23年3月期)	(前年同期)	(平成23年3月期)	(前年同期)
ダイフク	1,002.6	918.6	8.8	8.5
コンテック	85.8	59.2	4.2	△1.7
ウェブ社	141.2	157.5	3.7	2.6
DAC※	60.4	83.6	3.3	5.8
その他	315.2	288.1	5.9	2.6
連結調整等	△12.8	35.0	△23.5	△7.7
計(調整後)	1,592.6	1,542.0	2.6	10.1

※ DAC=ダイフク・アメリカ(Daifuku America Corporation)

DACは決算期を12月に変更したため、今事業年度は第3四半期までの9カ月間(4～12月)になります

3. 製品・サービスごとの売上高

DAIFUKU

6

(Unit: 億円)

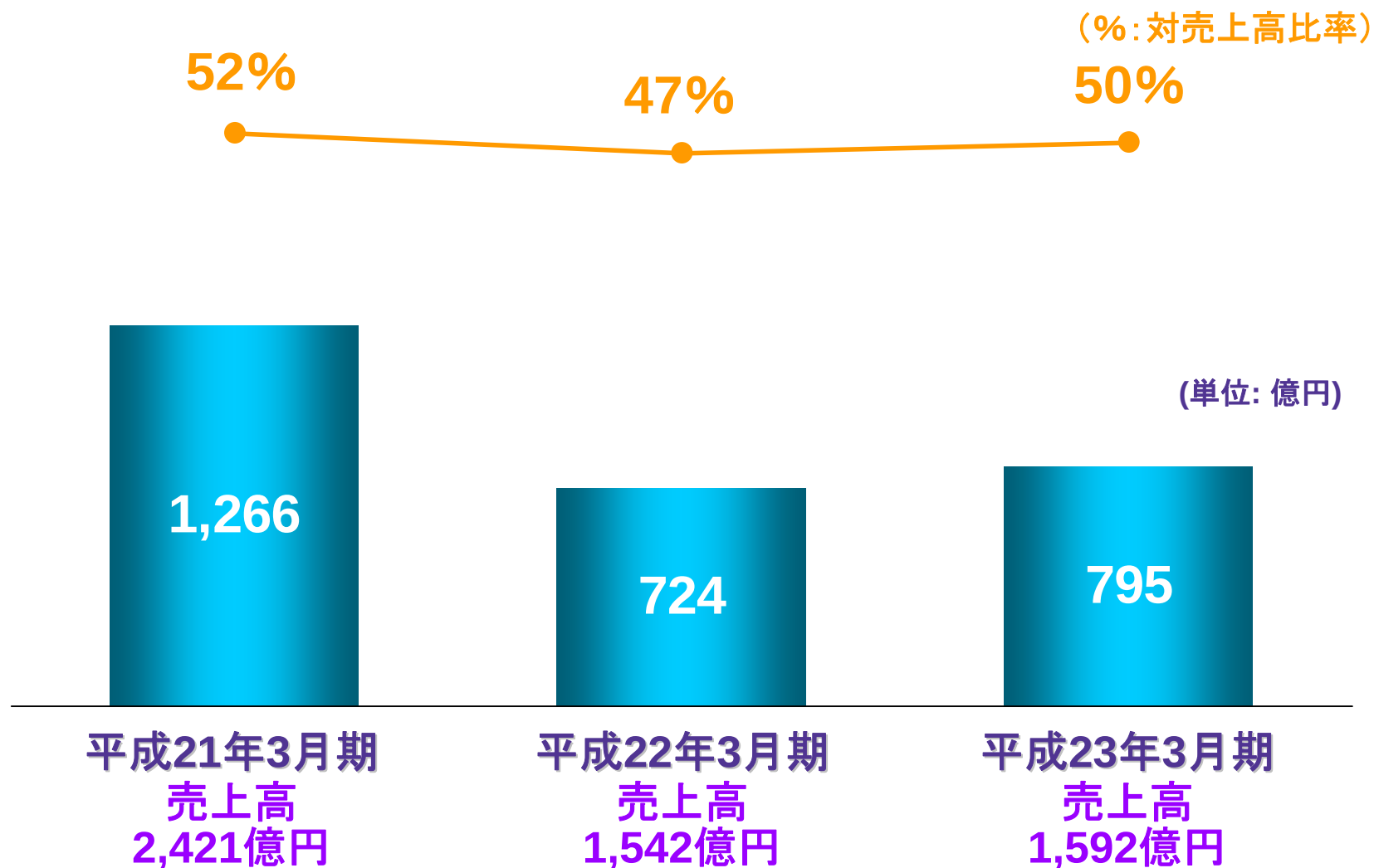
	(平成23年3月期)	(前年同期)	(対前年同期比)
物流機器	1,398	1,378	(1.5%増)
電子機器	85	60	(42.0%増)
その他	107	103	(4.5%増)
計	1,592	1,542	(3.3%増)

※億円未満切り捨て

4. 海外売上高の推移

DAIFUKU

7



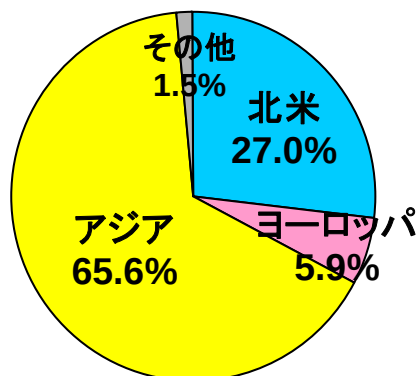
5. 海外地域別売上高

DAIFUKU

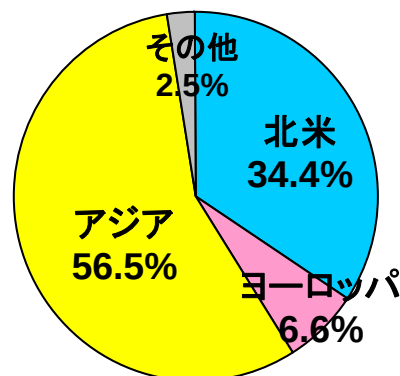
8

中国が急増

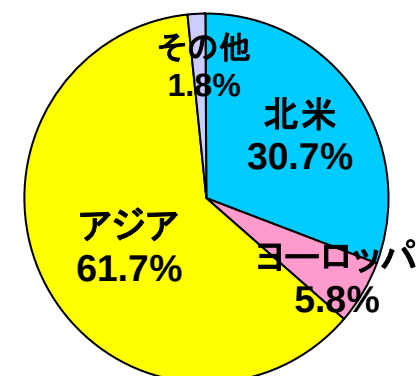
(単位: 億円)



平成21年3月期



平成22年3月期



平成23年3月期

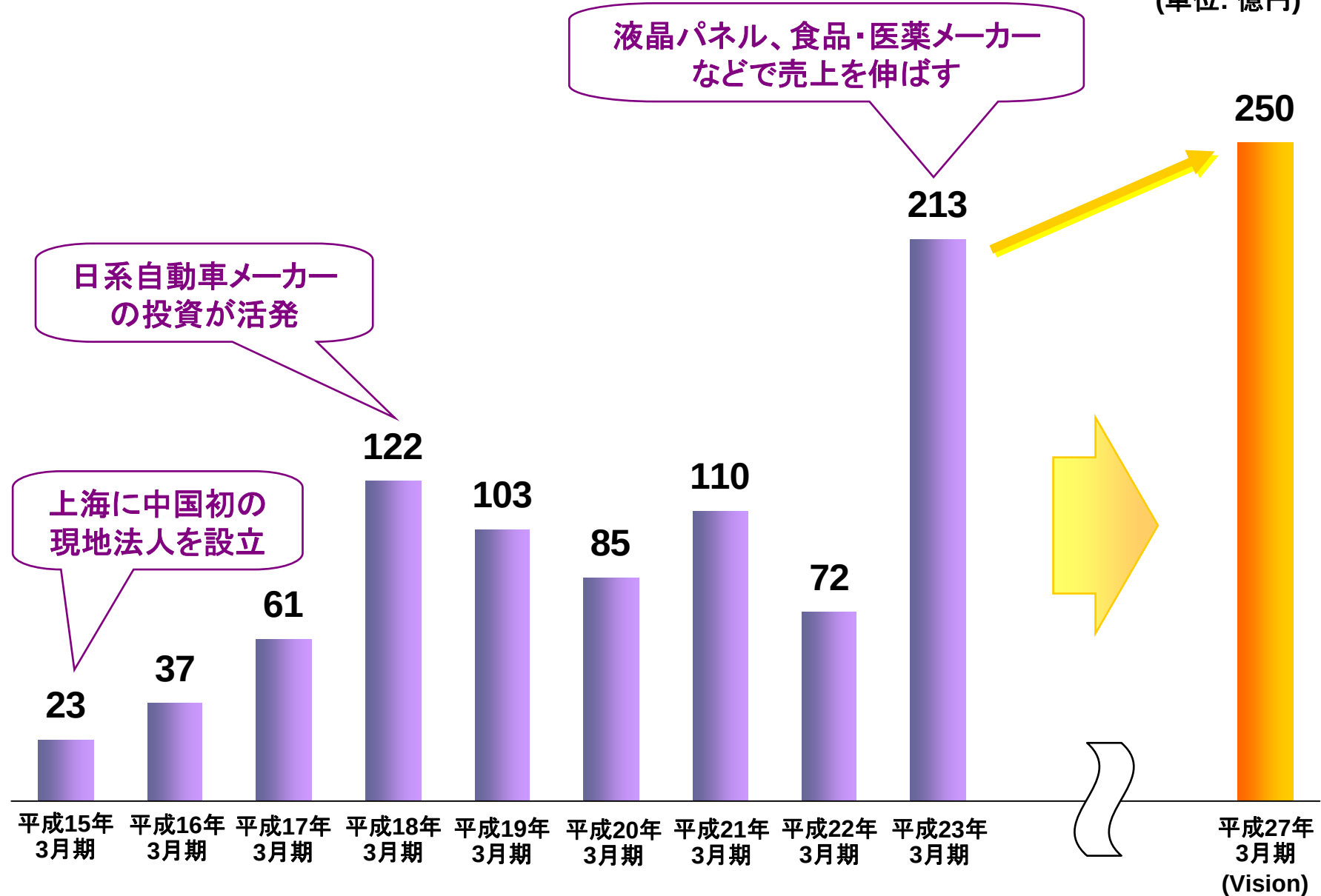
地区 国名		平成21年3月期		平成22年3月期		平成23年3月期	
		売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)
北米		341.3	27.0	249.2	34.4	244.6	30.7
アジア		830.9	65.6	410.0	56.5	490.5	61.7
	中国	109.9	8.7	72.3	10.0	213.4	26.8
	韓国	301.6	23.8	110.4	15.2	139.8	17.6
	台湾	355.5	28.1	177.0	24.4	92.1	11.6
	その他	63.9	5.0	50.3	6.9	45.2	5.7
ヨーロッパ		76.8	5.9	47.0	6.6	45.6	5.8
その他		17.4	1.5	18.5	2.5	14.8	1.8
合計		1,266.5	100.0	724.7	100.0	795.5	100.0

6. 中国売上高推移(連結)

DAIFUKU

9

(単位: 億円)

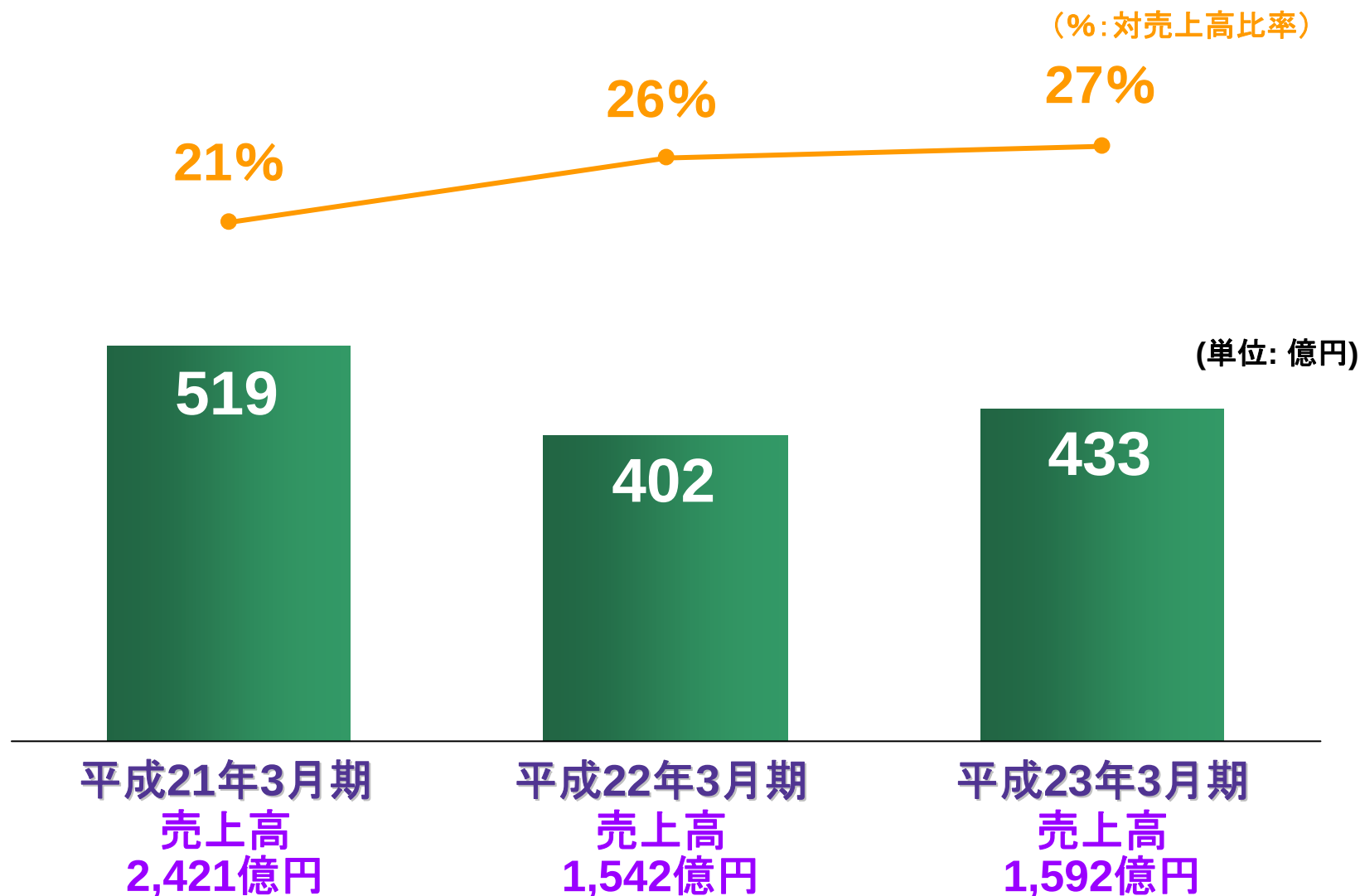


7. サービス売上高の推移

DAIFUKU

10

※サービス売上高：納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高



8. 連結業種別受注高、売上高

DAIFUKU

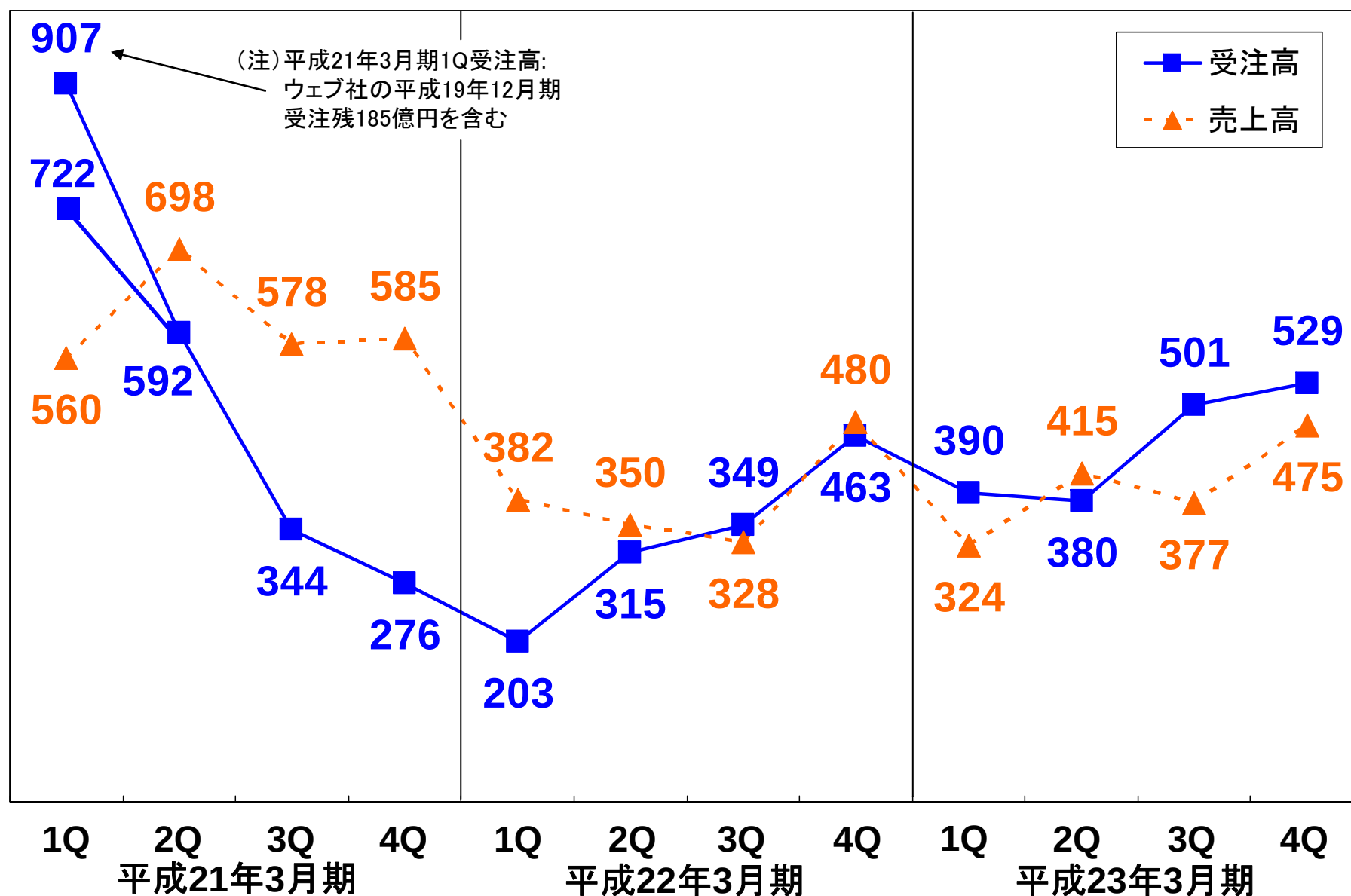
11

(単位: 億円)

業種	受注高				売上高			
	平成23年3月期		平成22年3月期		平成23年3月期		平成22年3月期	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および 自動車部品	368.5	20.4%	221.4	16.6%	250.4	15.7%	237.2	15.4%
エレクトロニクス	576.0	32.0%	359.8	27.0%	533.5	33.5%	456.7	29.6%
商業および 小売業	261.5	14.5%	291.7	21.9%	306.7	19.3%	280.2	18.2%
運輸・倉庫	95.9	5.3%	61.3	4.6%	73.5	4.6%	92.1	6.0%
機械	44.5	2.5%	31.9	2.4%	37.6	2.4%	64.2	4.2%
化学・薬品	77.0	4.3%	78.8	5.9%	79.1	5.0%	64.4	4.2%
食品	65.6	3.6%	89.7	6.7%	68.3	4.3%	73.2	4.8%
鉄鋼・非鉄金属	36.4	2.0%	28.5	2.1%	33.8	2.1%	28.7	1.9%
精密機器・ 印刷・事務機	26.2	1.5%	26.7	2.0%	30.0	1.9%	34.2	2.2%
空港	107.6	6.0%	68.6	5.2%	84.2	5.3%	104.6	6.8%
その他	143.2	7.9%	73.7	5.6%	95.5	5.9%	106.6	6.7%
合計	1,802.4	100.0%	1,332.1	100.0%	1,592.6	100.0%	1,542.1	100.0%

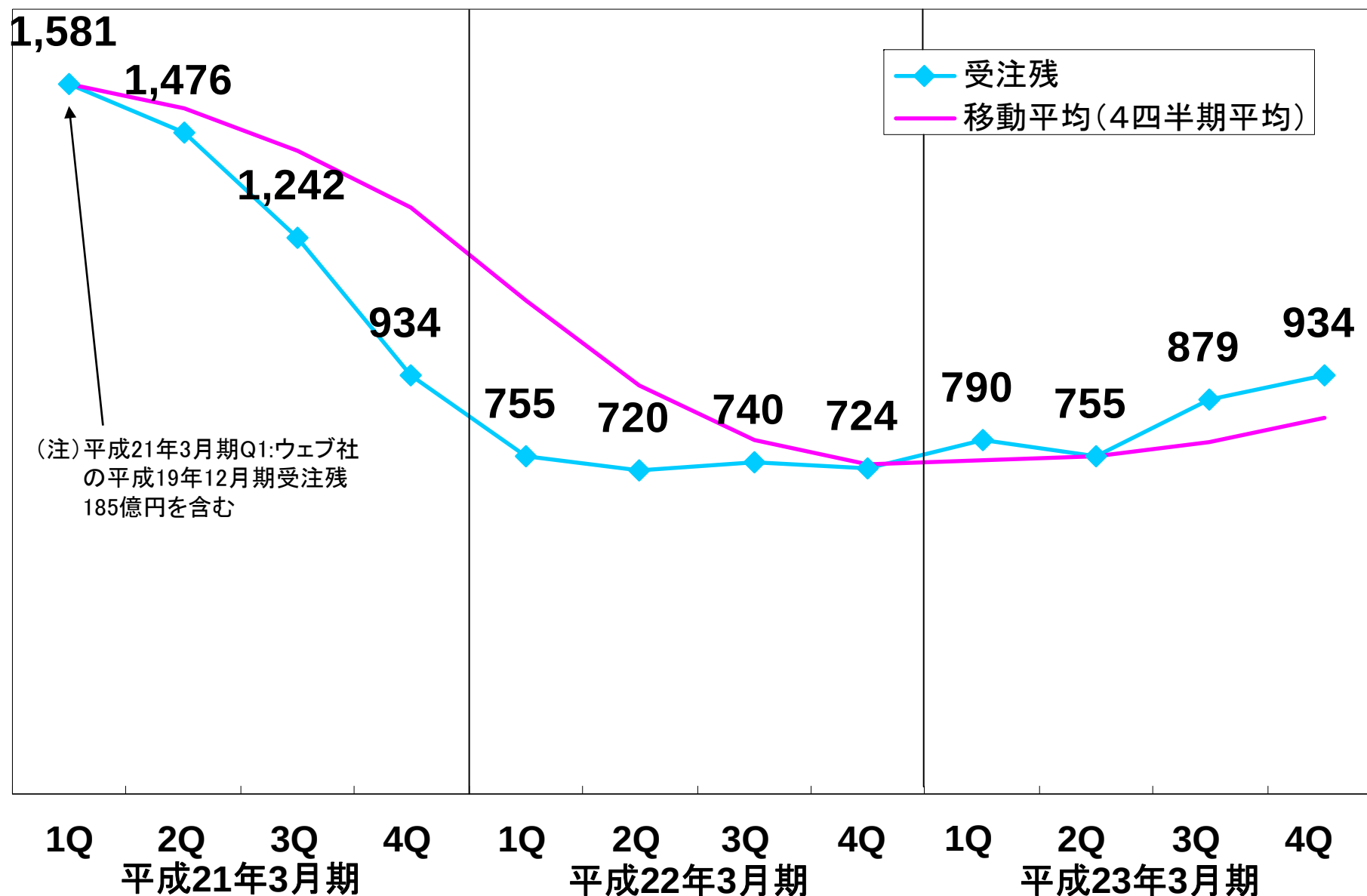
9. 受注高、売上高の四半期ごとの推移

(単位: 億円)



10. 受注残の推移

(単位: 億円)



市場の変化に迅速・柔軟に対応し、業績の回復と中期経営計画達成に目処をつける

- 新市場開拓と新商品開発に一層注力する
- 海外生産・調達のさらなる促進
- サービス事業の拡大で収益力の回復を図る
- グローバル人材の育成で、海外拠点を強化

12. 平成24年3月期第2四半期業績予想(連結累計) **DAIFUKU** 15

(平成24年3月期
第2四半期)

(前年同期)

(単位: 億円)

(対前年同期比)

受注高	1,000	770	(35.2%増)
売上高	900	739	(21.7%増)
営業利益	7	△7	(14億円増)
経常利益	4	△7	(11億円増)
当期純利益	△3	△11	(7億円増)

13. 平成24年3月期業績予想 (連結)

DAIFUKU

16

(単位: 億円)

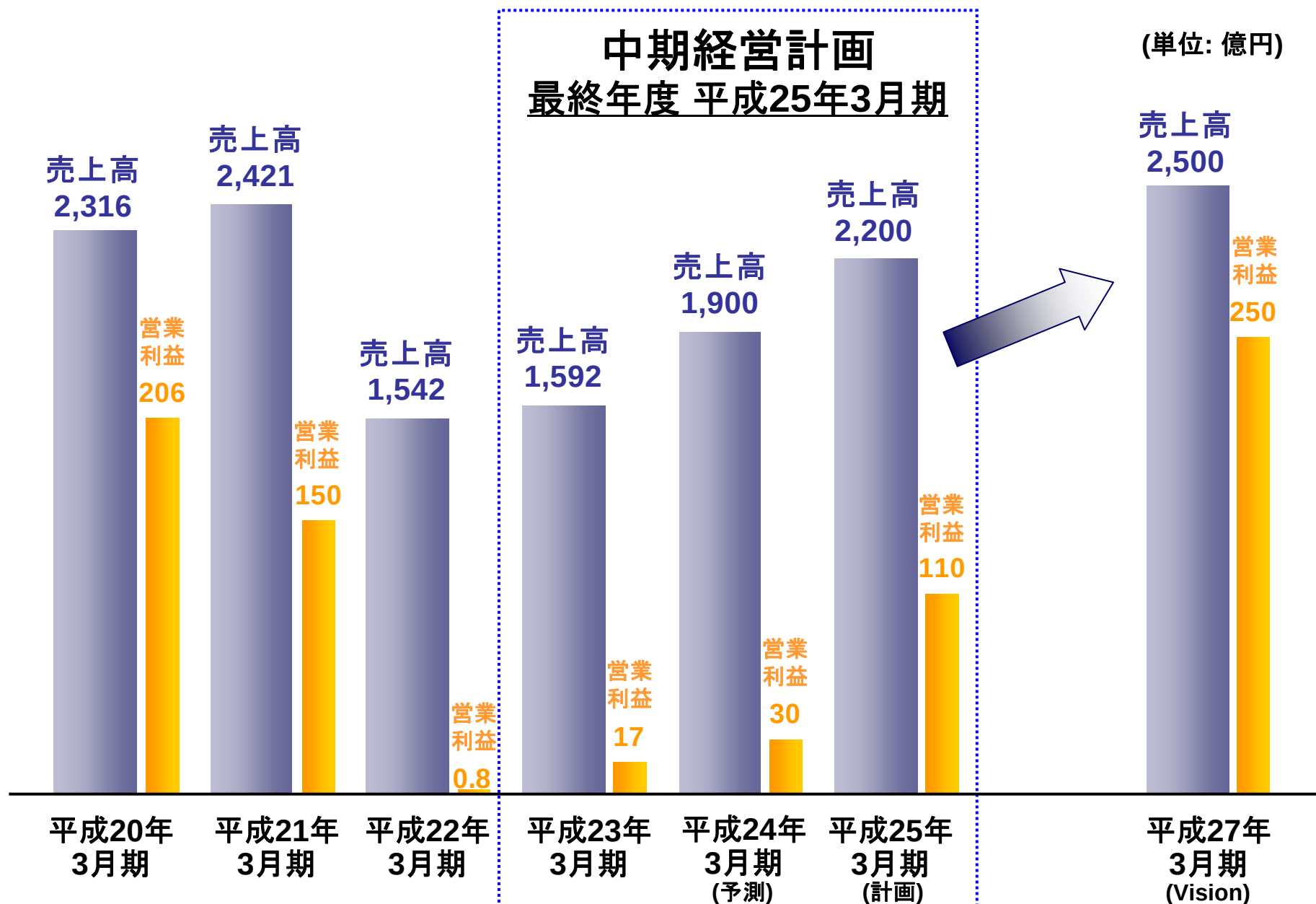
(平成24年3月期)

(前年同期)

(対前年同期比)

受注高	2,000	1,802	(10.9%増)
売上高	1,900	1,592	(19.3%増)
営業利益	30	17	(73.8%増)
経常利益	25	13	(85.8%増)
当期純利益	8	2	(197.0%増)

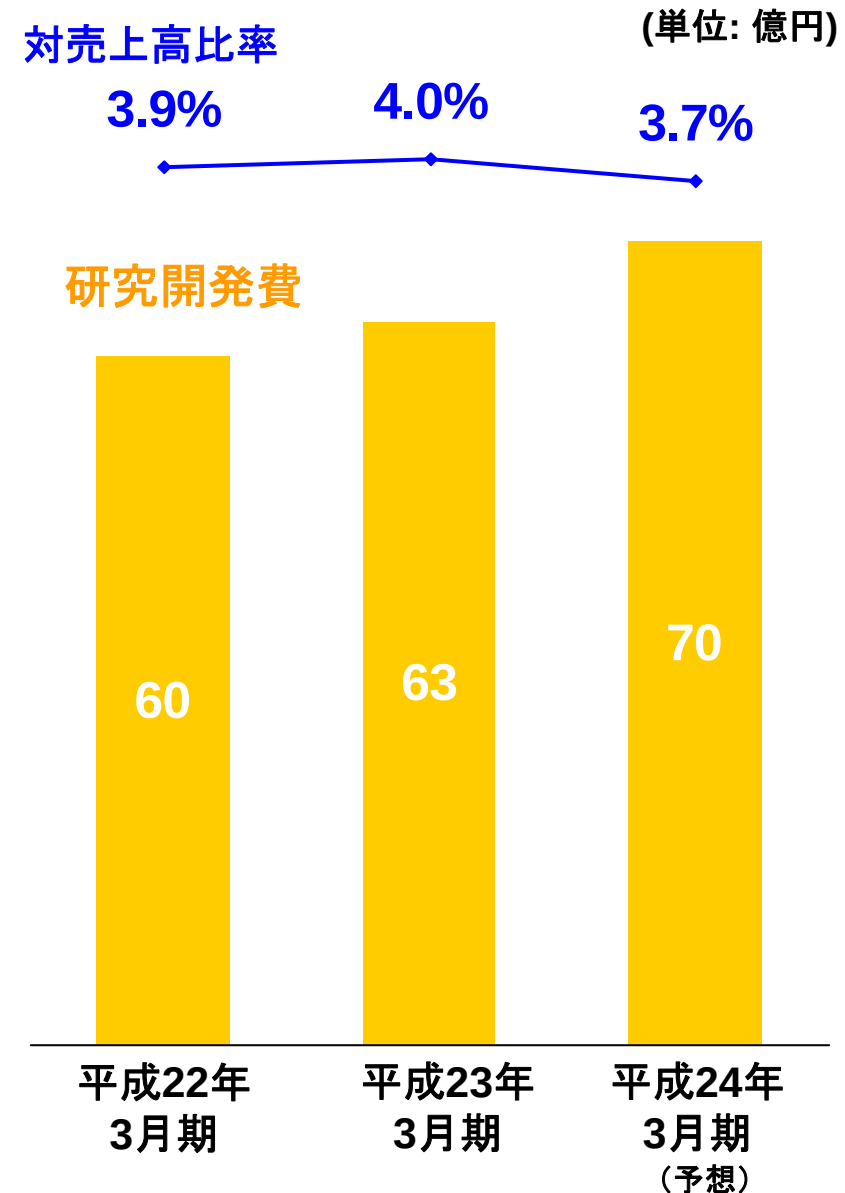
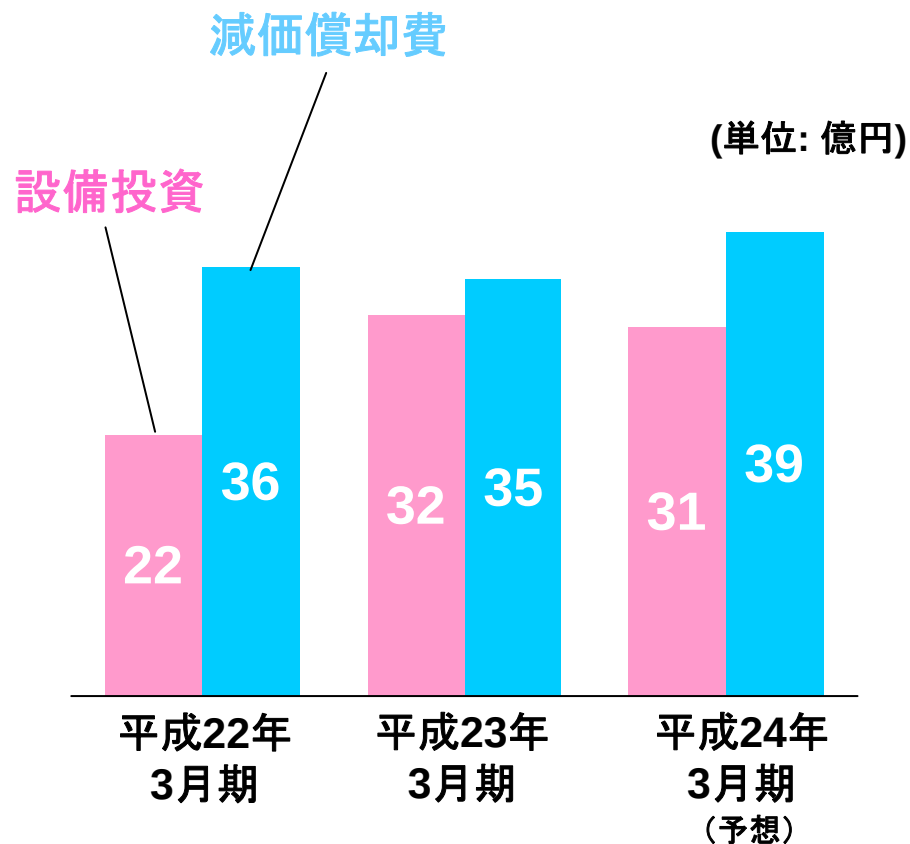
14. 中期経営計画の進捗状況



15. 設備投資、減価償却費、研究開発費の状況 (連結)

DAIFUKU

18



16. 有利子負債、固定費、従業員数の状況(連結) **DAIFUKU**

19

有利子負債の状況

(単位: 億円)

		平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
	短期	159	94	28
	長期	395	359	381
有利子負債計		554	453	409

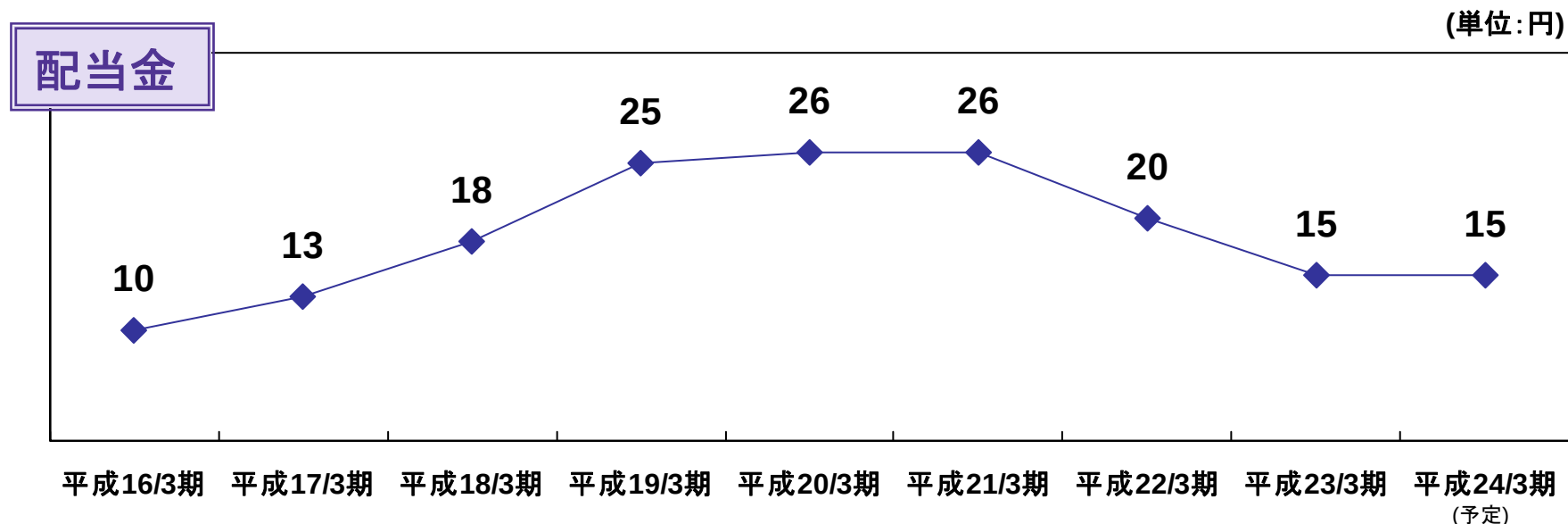
固定費および従業員数の状況

(単位: 億円)

		平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
固定費		729	582	597
	内、人件費	419	363	368
従業員数(人)		5,660	5,395	5,209

17. 利益配分に関する基本方針

1. 業績連動による配当政策を平成17年3月期から導入
連結当期純利益の20～30%の配当性向
2. 平成23年3月期：中間配当5円、期末配当10円、
年間で15円配当（平成17年3月期～平成23年3月期の
7期平均の配当性向：約34%）
3. 平成24年3月期：中間配当5円、期末配当10円、
年間で15円配当（据え置き）の予定



■ 国内外で業務提携、M&A、組織再編を実施

- ・**Knapp社（オーストリア）と業務提携（平成22年10月）**
欧州・中南米市場、小物ピッキングシステムなどを強化
- ・**YASUI社より洗車機事業の譲り受け（平成23年1月）**
量産化によるコスト削減、サービスの拡大など収益面の改善を図る
- ・**Logan社（英・仏・米）の株式を取得（平成23年4月）**
空港手荷物搬送システムの欧州や中国などへの拡大を図る
- ・**米国組織の再編（平成23年1月）**
ダイフク・アメリカ、ウェブ社を傘下に置く統括会社を設立。
経営の効率化、さらなる顧客サービスの充実・向上を目指す

■ A格債を維持(平成22年7月)

強固な財務基盤が評価され、
格付投資情報センターによる社債格付け「A-」を維持。
短期債の格付けも最高の「a-1」を維持

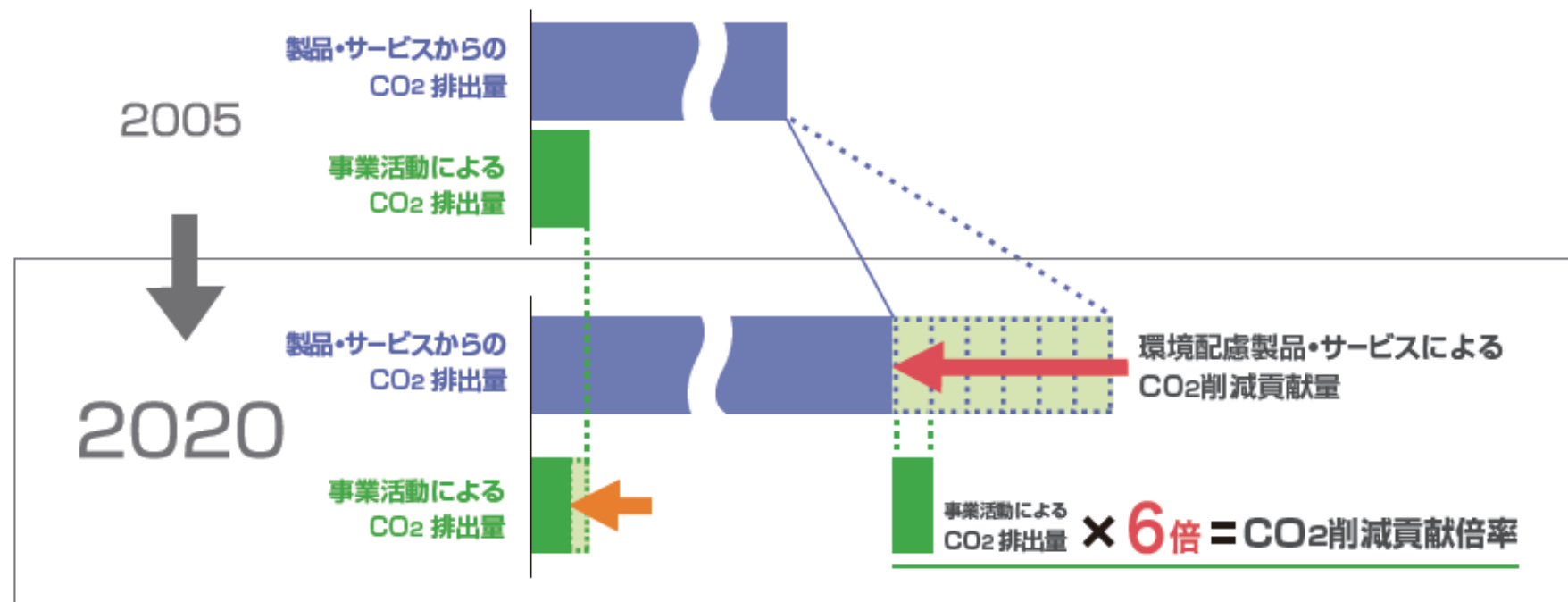
■ インテル・コーポレーションよりPQS賞(平成23年4月)

2年連続、通算6回目のPreferred Quality Supplierに
認定される

■「ダイフク環境ビジョン2020」の策定（平成23年4月）

2020年度をターゲットとした環境目標を設定。

環境配慮製品・サービスの開発、提供によって、当社が事業活動から排出するCO₂の6倍にあたる量を削減する



- 主力生産拠点である滋賀事業所は、被害を受けませんでした
- 被災したお客様に対する復旧工事には、迅速に取りかかり、再稼動に努めています
- 部品調達への支障、電力不足等の震災に起因する当社グループへの影響が懸念されますが、軽微に終わるよう努めます

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。